

人文選択（前期 アメリカ短編小説）(Special Lecture on Humanities and Social Sciences)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
一般科目	選択	5年前	1	講義	長戸 喜隆

【授業の概要】

数あるアメリカの短編小説家の中でも E. ヘミングウェイ, F. オコナー, T. カポーティはハラハラする恐怖の場面を描く名手と言われている。平易な語彙を使った英文の中でそれぞれが異なった技巧を駆使していることを味読する。

【授業の進め方】

予習は必須。順番に英文を読み、訳読し、問題箇所について説明したり、教師の質問に答えたりする。小説技法について考える授業であるので、日本語訳をつけるだけでなく、作品を理解するよう心がけて授業に臨むこと。

【授業の概要】	【授業項目】	【内容】
1回	イントロダクション The Killers	シラバスを見ながら、授業の進め方や評価法などの説明 輪読
2回	The Killers	輪読
3回	The Killers	輪読
4回	The Killers	輪読 読後の感想発表
5回	A View of the Woods	輪読
6回	A View of the Woods	輪読
7回	A View of the Woods	輪読
8回	中間試験	中間試験前までに授業で読んだ箇所の語彙、英文和訳、小説技法について答う。
9回	中間試験返却 A View of the Woods	不十分だったところを中心に説明し、解答を確かめる。 輪読
10回	A View of the Woods	輪読
11回	A View of the Woods A Tree of Night	読後の感想発表 輪読
12回	A Tree of Night	輪読
13回	A Tree of Night	輪読
14回	A Tree of Night	輪読 読後の感想発表
	期末試験	期末試験前までに授業で読んだ箇所の語彙、英文和訳、小説技法について答う。
15回	解答返却など	不十分だったところを中心に説明し、解答を確かめる。

【到達目標】

文学として短編小説が楽しめること。単なる英文読解にとどまらない小説の技法・技巧を理解できること。

【徳山高専学習・教育目標】

A 2

【J A B E E 基準 1(1)】

f

【評価法】

最終評価 = (前期中間試験 + 後期中間試験) × 1/2 × 80% + Participation (20% = 輪読状況 + 授業参加度 + 小テストなど)

【テキスト】

馬場弘利編注「現代アメリカ短編恐怖小説集」
英和辞典（授業必携）

【関連科目】

3年「総合英語 R」

【成績欄】

前期中間試験 前期末試験 前期成績 後期中間試験 後期末試験 学年末成績
【 】 【 】 【 】 【 】 【 】 【 】